



行 財政システム再構築プランに沿って町が進める施策の一つにある、都市計画税の西部地区の課税についてご説明します。

11月中旬から12月上旬まで計5回にわたり西部地区の都市計画税賦課に係る説明会を開催しました。この中で、西部地区に都市計画税を平成21年度からの賦課に向けた取り組みとして、これまでの経緯や都市計画税の内容について説明しました。説明会での主な質疑意見をご紹介します。なお、そのほかの質疑は、ホームページに掲載を予定しています。

問 道内の他市町と比べて税率は高いの？

答 道内で都市計画税を賦課している市や町のうち約8割は税率0.3%となっております。ほかの2割の市町については0.18%が1町、0.25%が2町（当別町含）、残りが0.2%となっております。石狩管内の近隣市町では本町を除き6市が0.3%を採用しています。

問 税率は上がる可能性はあるの？

答 都市計画税は地方税法で税率の上限を0.3%と定めており、地方自治体の条例でその税率を定める事となっております。当別町では昭和58年に「当別町都市計画税条例」を定め、税率を0.25%としておりますが、今のところ税率を改正する検討はしていませんので、しばらくの間は「上げる」ことはありませんが、将来社会情勢等の変動により、条例改正を検討する可能性は否定できません。その場合は事前に説明会などを開催し関係者に説明します。

問 都市計画税は永久に払い続けるの？

答 都市計画税は目的税であり用途が限定されております。計画している都市計画施設が整備され都市計画事業が無くなると、徴収する目的が無くなりますが、その後の計画を見越し基金として積み立てる市町村もあります。しかし、都市計画税は過年度に都市計画事業を実施した際に借り入れた起債（借金）の償還にも充当するので、事業が終わっても起債の償還期間中は徴収することになります。

問 西部地区に新しく賦課区域とする地域はどこ？

答 本町地区と同様に都市計画法に基づいて定めた用途地域内とします。ただし、今後においては税の公平な負担に基づき、用途地域以外にも都市計画法に基づいて決定できる用途地域と同様な区域指定（地区計画や景観地区等）をする事も予想されます。それらの区域についても、権利者の理解をいただき賦課に向け検討していきます。

問 あいあい公園のパークゴルフ場など、利用する人とならない人で不公平になるので使用料を取るべきではないか。

答 利用者とならない人とで不公平感がないよう、公共施設の適正な利用者負担については、随時検討していきます。

問 今後は本町地区にある未整備の都市計画施設に税金を充てると受け取れますが、西部地区には都市計画施設の計画がないのか。

答 西部地区についても都市計画道路など、必要な都市計画施設を皆様の意見を聞きながら取りまとめ、必要な時期を見定めながら決めていきます。

問 都市計画マスタープランが実態とあっていないのでは？

答 マスタープランは平成14年に皆様からいただいた意見やアンケートをとりまとめて策定しました。これをベースとして改めて計画決定をする際、皆様方のご意見を伺い必要な施設配置をまとめていきます。

▼詳細 課税区域など 建設水道部都市計画課都市計画係 (☎ 23 - 3198)
税額など 総務部税務課資産税係 (☎ 23 - 2333)

平成 19 年度 当別ふれあいバス運行状況



平成 18 年度から「試験運行」を始めたコミュニティバス「当別ふれあいバス」は、この 2 年間で大変多くの方にご利用いただき、「地域の足」として少しずつ定着してきました。

今年度の「当別ふれあいバス」10 月末時点での運行状況を、平成 18 年度と比較しながらお知らせします。

●利用者について (平成 19 年 10 月末 : 70,213 人)

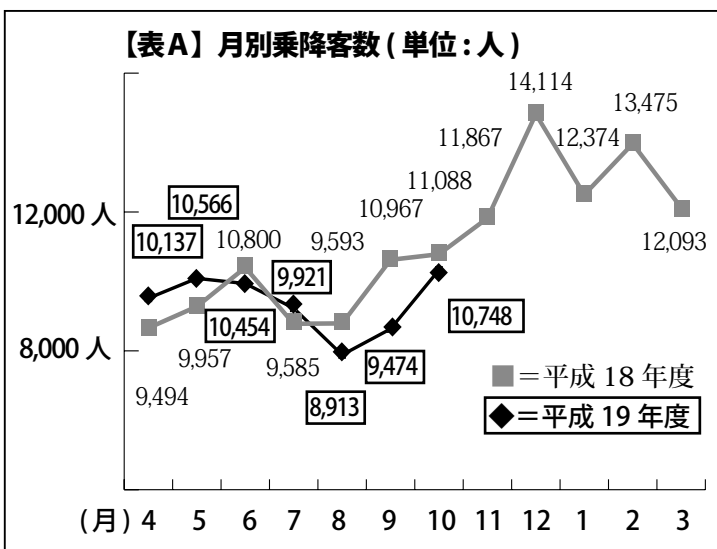
平成 18 年 10 月末での利用者は 71,484 人で、今年度は 1,271 人少ない状況です。

しかし、これは運行便数の改正によるもので、1 便あたりの利用者は 4.81 人 (18 年度は 4.78 人) と、若干増えています。

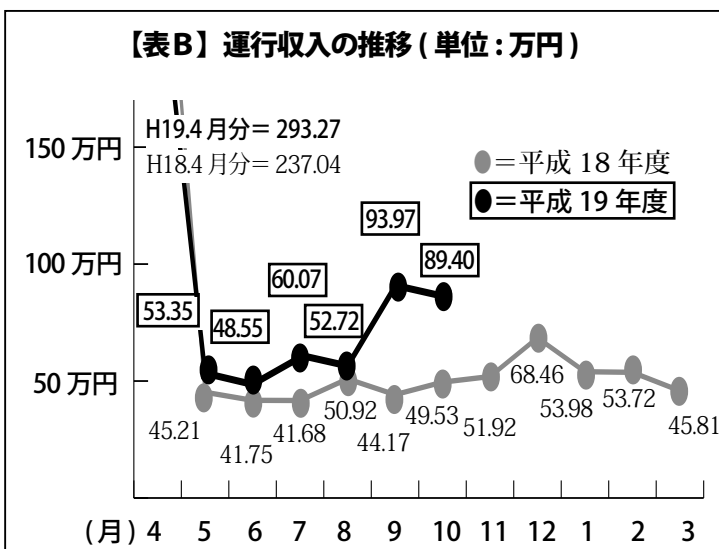
●運行収入について (平成 19 年 10 月末 : 635 万 1 千円)

平成 18 年 10 月末の運行収入は 566 万 5 千円でしたので、今年度は 68 万 6 千円増えています。これは本格運行を見据えて値上げした「応援券」に対する皆様のご理解と、応援券以外でのご利用が増えたためです。

【表 A】 月別乗降客数 (単位 : 人)



【表 B】 運行収入の推移 (単位 : 万円)



●これからの「当別ふれあいバス」について

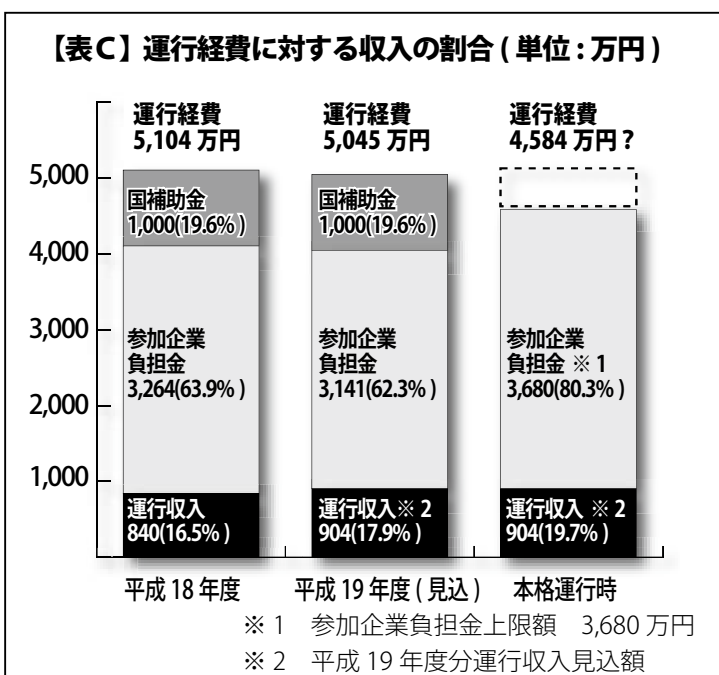
当別ふれあいバスは、皆様の利用運賃等と、国の補助や参加企業 (道医療大学・とうべつ整形外科・北洋交易株・当別町) の負担金で走っています。

平成 18 年度の約 5,104 万円の運行経費の内訳は、運行収入が約 840 万円、参加企業負担金 3,264 万円、国からの補助金 1,000 万円となっています。

今年度も、現時点で約 5,045 万円の運行経費が見込まれますが、運行収入は約 904 万円の見込みです。このままの運行収入だと、本格運行となって国の補助がなくなった場合は便数や路線を確保できなくなる可能性があります。

町としても持続的な、「バス運行の維持」を目標として運行計画の見直しを行う予定ですが、何よりも必要となるのは、利用者である皆様のご理解とご協力です。当別から「バス」を無くさないために、これからも「当別ふれあいバス」のご利用をよろしくお祈いします。

【表 C】 運行経費に対する収入の割合 (単位 : 万円)



▼詳細

企画課企画振興係 (☎ 23 - 3042)